

## M10b 太陽圏サイエンスセンターの設立と活動

増田智, 三好由純, 堀智昭, C.-W. Jun, 松本琢磨, 中村紗都子, 飯島陽久, 岩井一正, 瀬川朋紀, 塩川和夫, 小路真史, 草野完也 (名古屋大), 篠原育, 清水敏文, 浅村和史, 村上豪 (JAXA), 今田晋亮 (東京大), 原弘久, 勝川行雄 (国立天文台), 松田昇也 (金沢大), 北原理弘 (東北大), 塩田大幸 (NICT)

JAXA 及び国立天文台との連携のもと、太陽圏システム科学を推進するための「太陽圏サイエンスセンター」が、2022年度より、名古屋大学宇宙地球環境研究所に新たに設立された (<https://chs.isee.nagoya-u.ac.jp/> 参照)。「太陽圏サイエンスセンター」では、現在稼働している「ひので」「あらせ」「みお」の各衛星・探査機に関するデータファイルの整備、統合解析プログラムの開発と公開、運用計画の立案等の取り組みを進め、国内外の関連コミュニティの多くのユーザーに活用されている。

「ひので」に関しては、ひのでフレアカタログの維持管理、「ひので」に関連する博士・修士論文リストの作成などに加えて、科学目的に応じて加工された2次データのデータベースの公開を行っている。2021年度の「太陽活動領域の非線形フォースフリー磁場データベース」に続けて、2022年度には「ひので極磁場データベース」を公開した。どちらのデータベースにも固有のDOIを付与しており、永続的な検索や引用に役立つようになっている。

また、最近の活動としては、「みお」のデータに関するデータファイルの整備や解析ツールの開発にも着手するとともに、SOLAR-C衛星のサイエンスセンター機能・業務に関する検討を開始している。本講演では、太陽圏サイエンスセンターの活動についての紹介と今後の展望の報告を行う。